



令和9年度

入学者の募集及び決定に関する概要

志願資格

令和9年3月31日までに小学校等を卒業する見込みまたは修了する見込みの者であって、かつ、志願者本人及びその保護者（親権者又は未成年後見人をいう。）が川崎市内に住所を有し、入学後も引き続き川崎市から通学することが確実な者とする。

通学区域

川崎市内全域

募集定員

120名

出願

【志願手続き】 令和8年12月21日(月)から令和9年1月4日(月)まで
ウェブサイトで受付

【出願書類提出】 令和9年1月5日(火)から令和9年1月7日(木)まで

入学選考料

2,200円

検査実施日

令和9年2月3日(水)

選考方法

適性検査及び調査書を資料とし、総合的な選考によって合格者を決定する。

合格発表

令和9年2月10日(水)

学校公開・説明会

予約が必要なものもありますので、
学校のウェブサイトを確認ください。

学校説明会

令和8年7月18日(土)・19日(日)

神無祭(文化祭)※一般公開

令和8年9月5日(土)

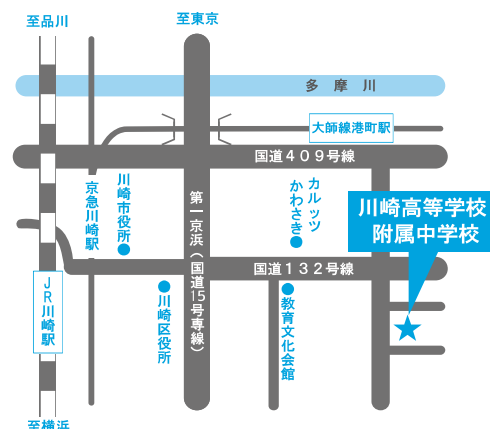
学校公開日

令和8年9月29日(火)・30日(水)

志願者説明会

令和8年11月3日(火・祝)

交通アクセス



- JR川崎駅中央東口・北口東より徒歩20分(約1.7km)
- JR川崎駅より川崎市バス「市立川崎高校前」下車(所要時間10～15分)
- 京浜急行大師線港町駅より徒歩12分(約1km)

SCHOOL GUIDE 2027

川崎市立

川崎高等学校 川崎高等学校附属中学校



川崎市立
川崎高等学校
川崎高等学校附属中学校

〒210-0806 川崎市川崎区中島3-3-1

【中学校】 <https://www.kaw-s.ed.jp/jh-school/>

【高等学校】 <https://www.kaw-s.ed.jp/kawasaki-hs/>

学校公開・説明会について

川崎高等学校附属中学校
電話 044-246-7861

入学者の募集について

川崎市教育委員会事務局指導課
電話 044-200-3243

中学校
HPは
こちら



高校
HPは
こちら



国際都市川崎を **LEAD** する
こころ豊かでたくましい人へ

生徒一人ひとりが
リーダーとして飛躍する力を身につける
6年間の学びがここにあります。

校長あいさつ

本校は、平成26(2014)年4月に川崎市初の公立中高一貫教育校として開校しました。今年度で創立115年を迎える川崎市立川崎高等学校を母体校とした併設型の中高一貫教育校です。川崎高等学校の学校教育目標「こころ豊かな人になろう」を継承し、人権感覚豊かで高い志をもって主体的に学び続け、国際都市川崎をリード(LEAD)していくようなたくましい人材を育てることを目指しています。

学ぶこと(Learn)、体験すること(Experience)、行動すること(Action)、を大切に、生徒一人ひとりの夢(Dream)を支える教育活動を推進しています。これらの頭文字をとったLEADには、「これからの社会で、生徒一人ひとりがリーダーとして飛躍できるような力を身につけてほしい」という願いが込められています。

このような理念を支える上で、本校の教育活動では『体験・探究』『ICT活用』『英語・国際理解』の3つの柱を大切に、中高6年間をつないだ、充実した教育活動を推進していきます。

今後も激しく変化していくことが予想される社会の中で、柔軟に対応しながら多様な個性、能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくことができるような能力を培うことが求められています(自主・自立)。また、個人や社会の多様性を尊重しながら、共に支え高め合える社会をめざしていくような、精神を育むことも重要とされています(共生・協働)。

このような資質・能力を育んでいく上で、心身が大きく成長する中学生という発達段階における学びは、とても大切です。様々な体験活動を通じて思考力・判断力・表現力を高め、人として最も大事な「こころ」を磨いていくことは、一人の社会人としての土台を作っていく上でとても重要です。このような大切な時期に、高校受験の影響を受けることなく、深く系統的に学ぶことができるという点が、本校の大きなメリットです。これからもこのメリットを十分に生かしながら、一層充実した学びを推進していきます。本校が目指すもの、取り組んでいることに共感し、チャレンジしてみたいという人は、ぜひ志願してください。

私たち教職員一同、わくわくしたいみなさんの夢と未来を全力で応援し、サポートしていきます。



附属中学校校長
西 道生

高等学校校長
田中 弘司

1

6年間の継続的な学び

「未来の自分の姿」を見つける、
あなただけの6年間

かわさきLEADプロジェクト

「かわさきLEADプロジェクト」は、学ぶこと、体験すること、行動することを重視し、
生徒一人ひとりの夢を叶えることを目指します。

L

Learn
学ぶ

- 6年間の継続的な教育課程で確かな学力を育む
- 中学生と高校生がともに学び合い、社会性を身に付ける

E

Experience
体験

- 課題を発見し、自ら解決する力を身につける探究活動
- 国際的な視野を広げるための体験学習に力を入れた国際理解教育

A

Action
行動

- 生徒の自治的な活動を通じた主体性の獲得
- やり遂げる力、表現力の向上

D

Dream
夢

- なりたい自分を見つけるための一人ひとりに合わせた進路指導
- 社会観や職業観の育成

探究と国際理解

探究活動と国際理解教育に重点を置き、6年間で3ステージに分けて、段階的に発展する学習を行います。

		探究活動		国際理解教育				
		探究学習	成果発表	英語での表現活動	英語だけの生活体験	英語での疑似体験	海外生徒との交流	海外での研修
中学校	1年	探究スキル学習	学習発表会	English Challenge	English Camp			
	2年	キャリア教育						
	3年	地域課題解決学習				English Adventure		
高校	1年	地域課題解決型ゼミ	弥生祭				高校生スクールビジットプログラム	海外研修
	2年							Stanford e-Kawasaki
	3年	論文						

2

探究活動

課題発見、調査、整理分析、発表のサイクルを通じて、社会の課題を自ら解決する力を身につけます。

● 探究スキル学習

中学1年生

探究学習の基礎・基本を定着させるとともに、前期は理想の自分について探究し、後期は農業体験で学んだことをさらに深めます。



● キャリア教育

中学2年生

職場体験や職業講話等で得た情報をもとに、自分の将来を探究し、働くことについて考えます。

● 地域課題解決学習

中学3年生

修学旅行で訪れた長崎市や自分の住む川崎市の未来について考えを深める活動を行います。

● 学習発表会

中学1～3年生

総合的な学習の時間で進めた探究活動について、学年ごとに発表する機会を設定しています。発見した課題に対して、中学生の視点で解決方法を考え、具体的に提案することで探究の成果を発表します。



私は、探究活動を通じて、限られた発表時間の中で相手に伝えるために、内容や手法を工夫することで、詳しく端的にまとめる力をつけられました。情報の取捨選択だけでなく、発表のコツも学ぶことができ成長しました。



かわさきよいまちづくりプロジェクト

高校1・2年生

探究の授業をゼミ形式で行います。川崎市総合計画を参考にしてテーマを設定し、市役所、研究機関、大学、企業などと協力しながら、川崎市をより良くするための活動及び研究を行います。



弥生祭

高校1・2年生

ゼミ活動で取り組んできた成果を中学校・高校の全生徒の前で発表します。最後はコンテスト形式で優秀賞を決定します。



夢実現プロジェクト

高校3年生

高校1・2年生で取り組んできたゼミ活動を振り返り、各自で論文を執筆します。6年間の学習成果を振り返り、自己を見つめ直すことで卒業後のキャリア形成に向けた力を養います。

3

国際理解

国際社会で活躍するために、国内外での実体験を通じてグローバルな視野とコミュニケーションの道具として必要な英語力を育てます。

English Challenge

中学1～3年生

劇やスピーチなどの表現活動を英語で行います。
ストーリーを自ら考えることで、相手に伝えるための英語を習得します。



クラスの全員で協力し、英語の発表を作り上げる時間はとても貴重で思い出に残ります。
そして今までの英語の勉強の成果をここで発揮し、自信に繋げることができます。



English Camp

中学1・2年生

3日間を通して外国語講師とともに英語だけで学習を行います。(中学1年生は校内、中学2年生は校外での宿泊体験)



English Adventure

中学3年生

様々な海外生活の疑似体験を通じて、非日常空間を楽しみながら実践的な英語を身につけます。



高校生スクールビジットプログラム

高校1～3年生

インドネシア、ハワイ、中南米、中国等、様々な国や地域の学校の生徒が来校し、お互いの文化を学ぶ交流学習を行います。



海外研修(任意参加)

高校1年生

オーストラリアでホームステイを行いながら、現地の学校に通います。生徒が主体的に異文化を理解するため、現地の授業はグループディスカッションを中心に行います。



Stanford e-Kawasaki

高校2年生

川崎市が「子ども・若者応援基金」を活用し実施するグローバル人材育成事業の1つで、スタンフォード大学の「多様性」と「アントレプレナーシップ(起業家精神)」をテーマとする半年間のプログラムにオンラインで参加します。プログラムの最後に参加者が最終発表を行い、優秀者を選ばれ、プログラム終了後、スタンフォード大学に招待され、現地でプレゼンテーションを行います。なお、プログラムは全て英語で実施し、参加者は、希望者の中から選考で決定します。



4

充実した学習環境

広い校庭や体育館、風がそよぐテラスや中庭、木質化された学習スペースなど、明るい校舎でのびのびと学ぶことができます。



メインアリーナ



講堂



テニスコート



ランチスペース



校庭



中庭



屋上菜園



テラス



プール

放課後の学習の場

学習会

中高ともに、水曜日の放課後に学習会を実施しています。



授業で分からなかったことも学習会で丁寧に教えてもらえます!

学びの空間

自習室、メディアセンター、自由に使えるコモンスペースなどの自習や友達との学びの場がそろっています。



自習室 | 58席



メディアセンター | 蔵書数約3万冊



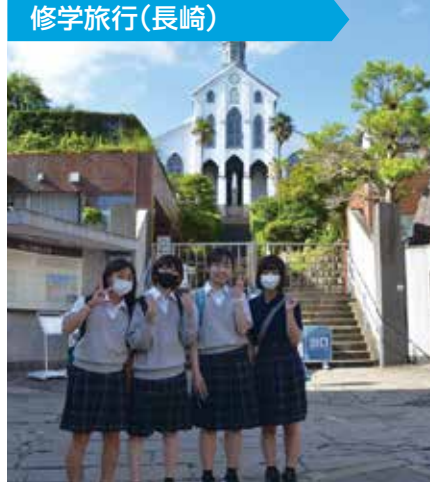
コモンスペース | 各フロアにあり

学校行事

中学校と高校の合同で行う行事もあり、学年を越えた交流によって、多くの仲間とともに成長できます。

中学校

修学旅行(長崎)



フィールドデイ



自然教室



中・高で一緒に!

体育祭



神無祭



高校

校外学習(1年生)



修学旅行(沖縄)



校外学習(2年生)



制服

毎日着ることを考えて、動きやすいブレザータイプです。
組み合わせも自由で、希望すればスラックスまたはスカートのどちらでも選べます。
※現在、中学校で夏季のポロシャツ通学を試行中



セーターとベストは冬用と夏用があります。
スラックスにはネクタイ、スカートにはリボンの
の組合せとなります。

ネクタイ

リボン

部活動

運動部も文化部も、盛んに活動が行われているのが特長です。
の部活動は、高校からとなります。

運動部

- 男子ソフトテニス部
- 女子ソフトテニス部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- バドミントン部
- 女子バレーボール部
- 陸上競技部
- サッカー部

- バレーボール部(男女)
- 剣道部
- ダンス部
- 卓球部

文化部

- 茶道部
- 書道部
- 吹奏楽部
- 放送部
- 美術部
- 演劇部

- 科学部
- 華道部
- クッキング部
- コンピュータ部
- 服飾部
- 福祉ボランティア部
- クイズ研究部
- 市川グローバルクラブ
- 漫画研究部
- 軽音楽部



ソフトテニス部



陸上部



書道部



華道部

卒業生からのメッセージ

1期生
関口さん(教員)

川崎高等学校附属中学校では、実際の体験や経験を通して学ぶ機会がたくさんあります。自分が興味のあることをやってみたり、調べてみたりする環境にとても恵まれています。自分とは違った意見と出会ったり、異なる文化に触れたりすることたくさんできました。

現在、私は小学校の教員になる夢を叶えることができました。川崎高等学校附属中学校での経験から、子どもたちが様々な体験や交流をできるような授業作りを目指し、友達と協働的に学ぶことができるような授業研究をしています。また、自分の異文化交流の体験を話しながら、子どもたちがそれぞれの個性を尊重し合えるようなクラス作りをすることにも取り組んでいます。



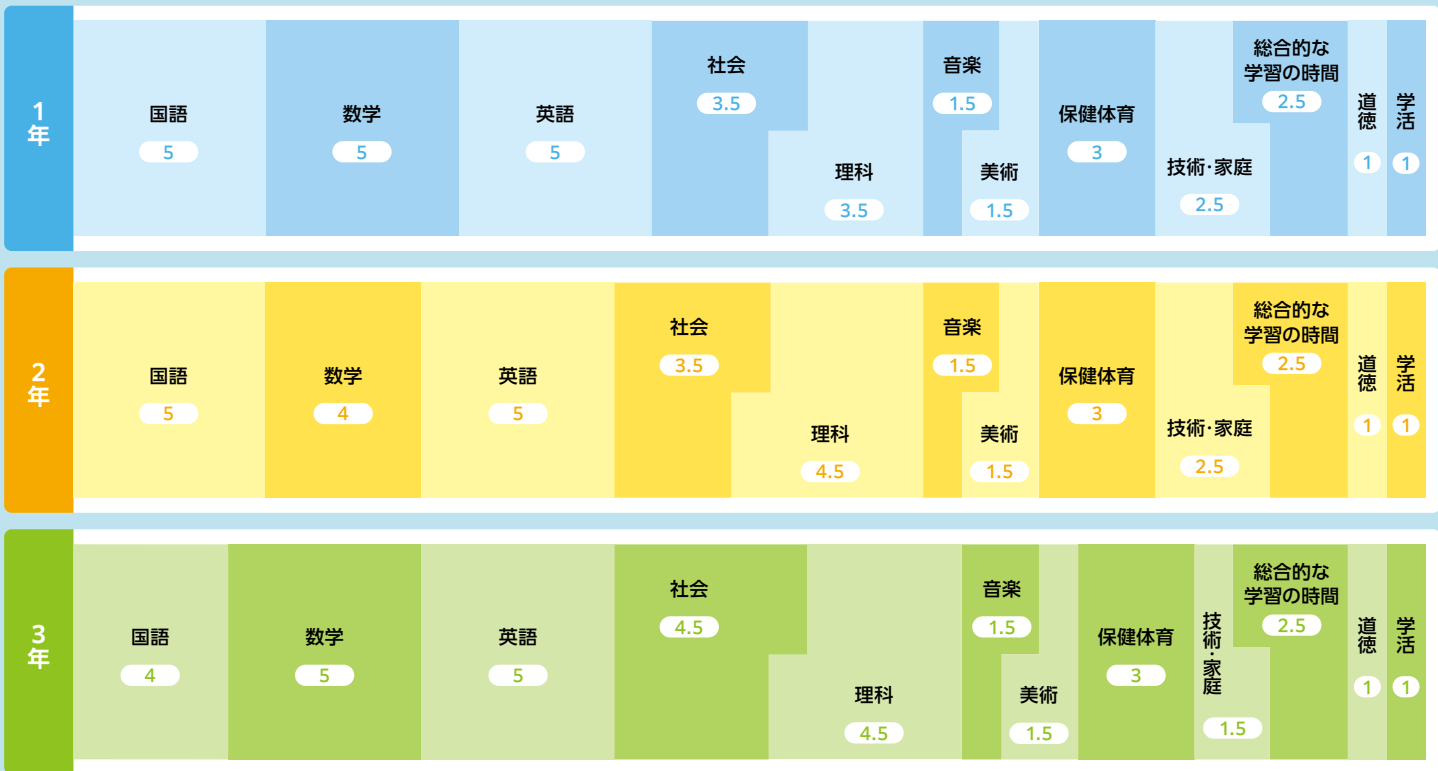
1期生
濱崎さん(大学院生)

英語は苦手だな、なんで勉強するのかなと思う人も多いでしょう。そんな人こそ、附属中学校での英語学習を通して、もっと英語と仲良くなってほしいと思います。

附属中学校では、英語の授業は英語で行い、耳から直接インプットします。さらにEnglish Campなどの行事で英語を使ってアウトプットすることで、ただ覚えるだけではなく、英語の使い方も学びました。英語で話すことへの苦手意識を減らせたので、高校で参加したオーストラリア海外研修では現地の方々と積極的に交流できました。

今は大学で水素という新しいエネルギーを研究しています。英語の本やレポートを読んで、研究内容を英語で発表します。大勢の人の前で、しかも英語での発表は緊張しますが、中学校で英語学習を頑張ったことが背中を押してくれています。

中学校 1週間の授業数



主な進路先

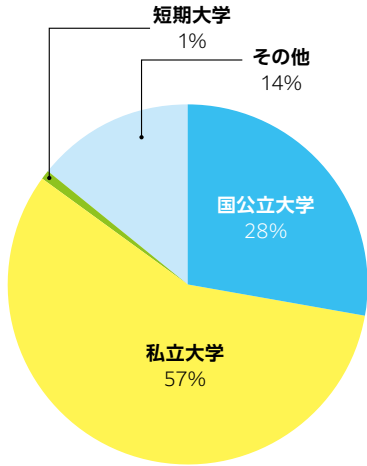
進学先の4年制大学

(過年度生を除く)

卒業生 R7:111人 R6:110人 R5:106人

国公立大学					私立大学				
大学名	卒業年度	R7	R6	R5	大学名	卒業年度	R7	R6	R5
茨城大学			2		青山学院大学		3	5	5
宇都宮大学			3		学習院大学		1	1	4
大分大学			1		神奈川大学		3	1	
お茶の水女子大学		1			関西学院大学			1	
神奈川県立保健福祉大学			1	2	関東学院大学		1	1	1
金沢大学				1	北里大学				1
川崎市立看護大学		1			慶應義塾大学			1	4
京都大学		1			工学院大学		1		1
高知大学(医)			1		國學院大學			2	2
国際教養大学		1	1		国士舘大学		2		
埼玉大学				1	駒澤大学		2		1
千葉大学		2		2	相模女子大学			2	
筑波大学		2	1		産業能率大学		1		
電気通信大学		2		3	芝浦工業大学		1		1
東京外国語大学		2	3	1	順天堂大学		1	2	
東京海洋大学			1	1	上智大学		1	2	2
東京科学大学		5	5	3	昭和医科大学		1		
東京学芸大学			1	1	昭和医科大学(医)		1		
東京都立大学		1	2	1	昭和音楽大学				1
東京農工大学		1			昭和薬科大学				1
東北大学		3			成蹊大学			3	2
富山大学				1	専修大学		2	1	3
長岡造形大学		1			洗足学園音楽大学				1
新潟大学		1			大正大学			1	
広島大学		1			玉川大学				1
北海道大学		1		3	多摩美術大学		1		1
横浜市立大学		1	1	2	千葉工業大学				1
横浜国立大学		4	5	6	中央大学		3	1	3
合計		31	28	28	津田塾大学			1	2

令和7年度卒業生の進路



進路先	人数	割合
国公立大学	31	28%
私立大学	63	57%
短期大学	1	1%
専門学校	0	0%
その他	16	14%
合計	111	

カリキュラム

高校 1週間の授業数

